



乾燥設備で未利用材チップの含水率を低下させる
(ユナイテッドリニューアブルエナジー)

立。さらに秋田県や地元の金融機関による融資なども含めると、総事業費は12.5億円に上った。

してから燃焼させることとで、安定した発電をき東北電力や新電力会
社に売電している。創出し

燃料は秋田県内の未利用材を主とし、補助燃料としてインドネシアやマレーシアから輸入したパームやし殻(PKS)を用いる。比率は未利用材が7割、PKSが3割で、未利用材の使用量は年間11・5万トンを超える。秋田港に近いため、PKSの運搬にも優れる。

未利用材は県内各地域の森林組合や林業者を通じてチップ化されたものを仕入れる。発電所には破碎施設を設置しないことで、林業者との役割を明確化するとともに林業者での雇用促進や林業の活性化に寄与する。

日本有数のスギの産地として知られる秋田県。森林資源の活用が期待される中で、今年7月、ユナイテッドリニューアブルエナジー(秋田市、平野久貴社長)の木質バイオマス(秋田市、平野久貴社長)の木質バイオマス発電所が県内で初めて開業した。森林組合などの林業関係者、秋田県と協力し、県内全域

ユナイテッドリニューアブルエナジー 県内全域で林業の活性化へ

秋田県初の発電所を開業

にわたる林業と地域経済の活性化に挑む。発電所の出力は20・5MWで東北最大級となる。同社は、産業廃棄物処理業のユナイテッド(秋田県潟上市)、計画(秋田県潟上市)、フレンドであるグリーンファインانس推進機構の共同出資により設

乾燥設備にチップを通